

# ◎シリーズ 長岡京歴史散歩

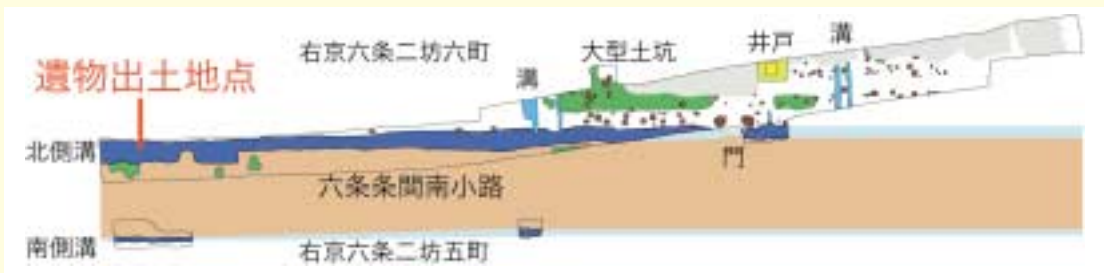
⑬

## 神足小学校区の遺跡3

↳「市」墨書土器

2000(平成12)年と2001(平成13)年、神足小学校の西側で行った発掘調査では、長岡京期の道路側溝から、土器や木製品・石製品など多量の遺物が見つかりました。出土した遺物のうち、蘇民将来札や一對の鳥をあらわしたデザイン画については以前このシリーズで紹介しました。今回取り上げるのは、土器に墨で文字が書かれた墨書土器という遺物です。

出土した墨書土器は須恵器すえぎの杯つぎで、高台の内側には「市」の一字が書かれています。この土器が目されるのは、「市」の文字が長岡京西市を示すと考えられるからです。調査地の南側一帯は長岡京西市の有力な推定地であり、これまでの調査でも木簡など重要な資料が発見されました。墨書土器が発見された道路側溝からは、木製品や石製品の未製品が多数出土しており、六条二坊六町には西市そのものではなく、西市に物品を供給するための公的な施設があったと考えられます。(財長岡京市埋蔵文化財センター)



▲検出した遺構 (赤色が墨書土器の出土地点、青色は検出した長岡京跡の道路側溝)

▶「市」墨書土器(上)底部全体 下)墨書部分の拡大写真)